

# ひかりのこ

10月園便り

認定こども園  
聖ミエル幼稚園  
2023年9月22日

## 月主題：つながって

私ごとですが、つい最近二男の結婚式があり、来月は長女の結婚式が予定されていて、私たちの子育てもここで区切りがつくのだ、と感じています。

私も夫も、ずっと札幌市の中学校の教員をしながら3人の子どもを育てました。ですから、我が家はそこはまだまだそう多くなかった共稼ぎ家庭でした。子どもたちを保育園に預け、慌てて保育園近くの中学校に出勤したものです。朝は本当に慌たしいものでした。朝ごはんは、大体パンと牛乳とウインナーと簡単に切れるキュウリやトマト。お昼は、子どもたちは保育園で、私たち夫婦は学校の給食でバランスの良いものをいただき、夜ご飯は、子どもたちと一緒に作ったものです。どうしても疲れてご飯を作れないときには、外食もしていました。

それでも、大人になった子どもたちが、「お母さんの料理、食べたいなあ。」と時々言うてくれるのは嬉しいものです。(人気があるのは、ミートスパゲッティ、コロッケ、豚汁かな)

ご飯を食べさせて、お風呂に入れて、夫が子どもたちに本を読んで、やっとのことで毎日生活をしていました。5人家族の大量の洗濯物は土日にまとめて洗い(洗濯機を3回も回して)、日曜日の夜に、大河ドラマを見ながら家族みんなで畳んでっていました。子どもたちも自分のものは自分で畳んでしまうことが当たり前でした。今思えば、よく3人も育てたなあ、と自分や夫に、そしてよくお手伝いをしてくれた子どもたちに、拍手してあげたいぐらいです。

ですから、今、子育て中の皆様には、本当に心からの拍手を送りたいです。毎日毎日、ご自分の楽しみは後回しにして、よく頑張っていますね。どうぞ頑張りすぎないで、時々手を抜いていいんですよ。そして、是非、家事は家族みんなでやってくださいね。子どもたちがお父さんお母さんと一緒に家事をすることは、

一緒に遊んでいるみたいに楽しいものです。お手伝いができたら、たくさんほめてくださいね。あっという間に過ぎる子育ての時間、どうぞ大切にしてください。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「祈りは幼きくちびるにも(聖歌549番)」

教会では毎日お祈りがささげられています。祈ることは教会の最も大切にしている行為です。ですが、子どもたちの「このお祈りを主イエス様によってお願いします、アーメン」と叫ぶ元気な声にハッとさせられる時があります。自分の声はこれほど真っ直ぐに神様に向けて届けているだろうか、と。

「祈」という漢字は、「示」に「斤」を添えて作られています。山奥に社(やしろ)を建てて神を祀る習慣があった日本人にとって森、林を斧で切り開き、神様を迎える場所を用意した古代の人たちの神様に向かう姿勢を思い浮かべることができます。

一方で、「いのり」という和言葉の語源は「(生きる)ことを(宣べる)」あるいは「(意志)を(宣べる)」という二つの言葉が合わさって成り立ったという説があるそうです。

難しい言葉や、世界に起きている様々な出来事を知らなくとも、子どもたちは自分が生きている証を、その有り余るエネルギーを、声にして、体全体で自分のことを伝えようとしてくれます。一心に自分の命を煌めかせるその姿は、多くの大人が忘れてしまった「いのり」の本来の姿なのかもしれません。

チャプレン 司祭 上平 更